

江 南 区
区ビジョンまちづくり計画
第3次実施計画

2019年度－2020年度

新潟市江南区役所

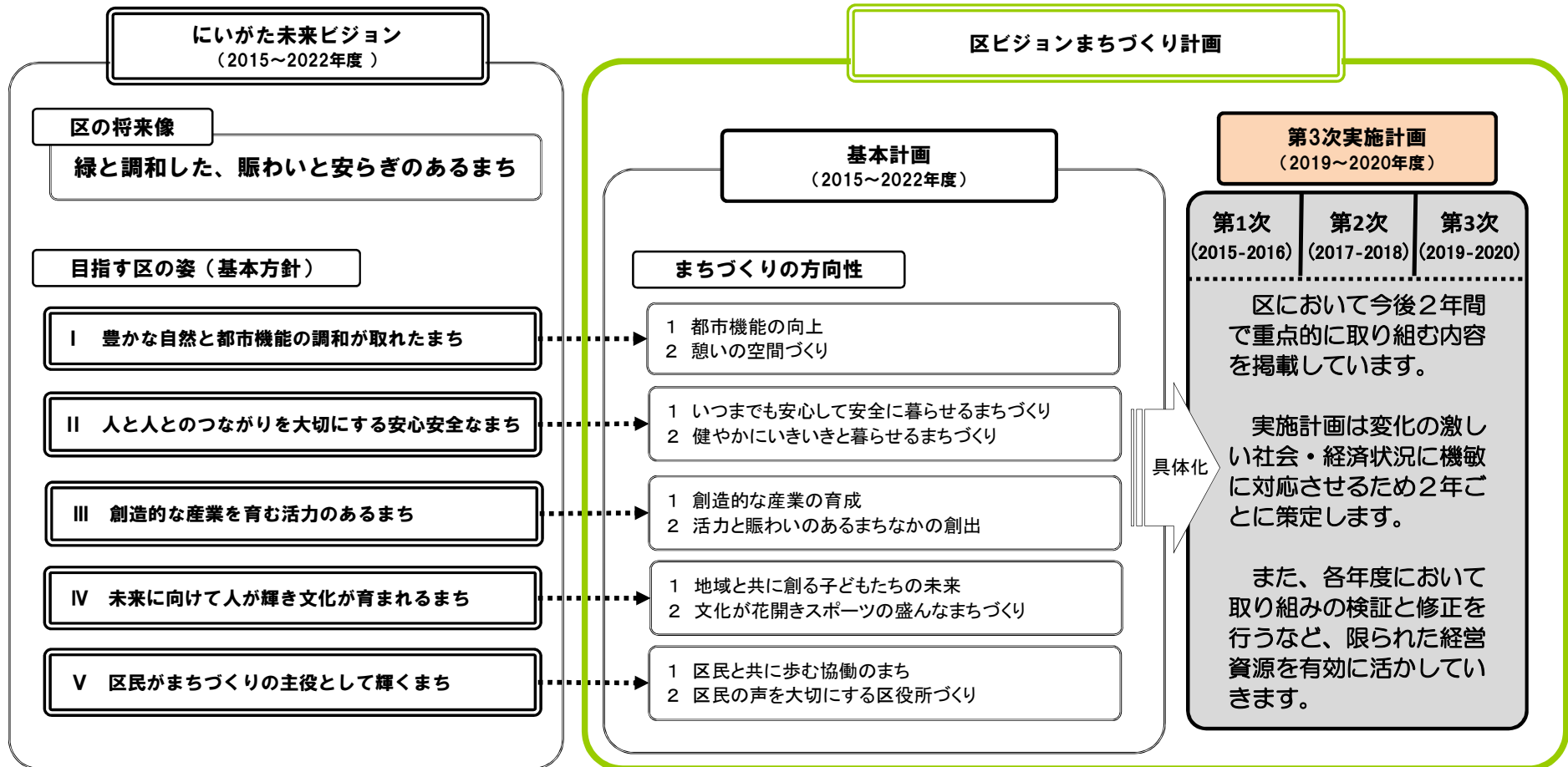
目次

区ビジョンまちづくり計画の概要	1
I 豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち	2
1 都市機能の向上		
2 憩いの空間づくり		
II 人と人とのつながりを大切にする安心安全なまち	7
1 いつまでも安心して安全に暮らせるまちづくり		
2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり		
III 創造的な産業を育む活力のあるまち	12
1 創造的な産業の育成		
2 活力と賑わいのあるまちなかの創出		
IV 未来に向けて人が輝き文化が育まれるまち	16
1 地域と共に創る子どもたちの未来		
2 文化が花開きスポーツの盛んなまちづくり		
V 区民がまちづくりの主役として輝くまち	21
1 区民と共に歩む協働のまち		
2 区民の声を大切にする区役所づくり		

区ビジョンまちづくり計画の概要

区ビジョンまちづくり計画とは、区におけるまちづくりの基本的な方針として「にいがた未来ビジョン」（新潟市総合計画）の一部に位置づけられている「区ビジョン基本方針」に基づく、まちづくりの具体的な取り組みを示したものです。

区では、区民と行政が区の目指す方向性を共有し、お互いに役割を分担しながら、地域の特性を活かした個性あふれるまちづくりを協働で進めていきます。



豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち

- 主要な道路の結節点やJR信越本線を有する交通の要衝としての利便性を活かして、人と物が交流し誰もがいきいきと快適に生活できるよう、道路や公共交通などの環境整備を進め、都市機能の向上を図ります。
- 緑豊かに広がる田園風景と信濃川、阿賀野川、小阿賀野川を結ぶ水と緑のネットワークづくりやその活用と、資源循環型社会の構築を目指した環境にやさしいまちづくりを推進するなど、自然環境との共生を図り、未来の世代につなげます。

1 都市機能の向上

人と物が交流し、快適に生活できるよう、道路や公共交通などの環境整備を進め、都市機能の向上を図ります。

(1) 道路網の充実

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	(主) 新潟中央環状道路整備 【横越バイパス工区～酒屋町工区】	本事業により、新潟空港、新潟東港などの国際交通拠点を効果的に連結するとともに、日本海東北自動車道や国道49号とのアクセス向上を図ります。また、江南区の新たな物流軸の構築や地域の活性化を支援するとともに、円滑な交通の確保を目指します。	用地買収、道路整備	用地買収、道路整備
2	都市計画道路・主要幹線道路整備	都市計画道路、主要幹線道路の整備により、市街地での渋滞緩和を図るとともに、他区へのアクセス向上や災害時の道路網の強化、避難・緊急輸送機能を高めます。	【亀田地区】 ・亀田中央線 (用地買収、道路整備) ・新潟新津線 [亀田跨線橋] (JR委託(電化柱移設)) 【大江山地区】 ・新潟亀田内野線 [北山拡幅] (道路整備)	【亀田地区】 ・亀田中央線 (道路整備) ・新潟新津線 [亀田跨線橋] (JR委託(電化柱移設)) 【大江山地区】 ・新潟亀田内野線 [北山拡幅] (道路整備)
3	市道整備	各地区の市道を整備することにより、幹線道路等へのアクセスの改善や交通の利便性向上、安全及び円滑な交通の確保を図ります。	【亀田地区】 ・亀田252号線 (道路整備) ・砂崩南線 (盛土工事) 【曾野木地区】 ・南7-346号線他 (道路整備、供用開始) ・南7-383号線 (道路整備、供用開始) 【横越地区】 ・沢海横越線他 (阿賀用水路改修等)	【亀田地区】 ・亀田252号線 (道路整備) ・亀田480号線 (用水移設) ・砂崩南線 (盛土工事) 【横越地区】 ・沢海横越線他 (阿賀用水路改修等)
4	歩道整備	幹線道路および市道において、歩道を整備することにより、歩行者の安全性の向上を図ります。	【両川地区】 ・割野酒屋町線 (道路整備)	【両川地区】 ・割野酒屋町線 (道路整備)

(2) 公共交通のさらなる利便性の向上

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	区バスの運行事業	アスパーク亀田-亀田駅西口-新潟市民病院間を区間とする区バスの運行について、これまでの利用状況や利用者ニーズを踏まえ、運行内容を見直すことで、利用者のさらなる利便性向上につなげます。	利用状況を踏まえたルートの変更及び「亀田第一病院前」バス停の新設（令和2年4月1日から）	<ul style="list-style-type: none"> 新たにノンステップ車両を導入（10月） 抗菌・抗ウイルスコーティングの施工
2	住民バスの運行支援事業	各地域の生活交通の確保に向けて、既存住民バスへの運行支援を継続するとともに、人口減少対策に向けたワークショップでの課題などを踏まえ、地域に真に必要な交通体系の構築に向けて、住民と共に検討します。	補助金による運行支援	<ul style="list-style-type: none"> 補助金による運行支援 抗菌・抗ウイルスコーティングの施工 社会実験の実施（横バス南土曜）
3	つかいやすい公共交通環境の構築	区内の多様な交通の利便性等について、利用する地域住民や公共交通関係者が検討・実践することで、より地域が使いやすい公共交通の実現を目指すとともに、過度な自動車依存からの転換を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 江南区生活交通改善プランを改定（令和2年3月） 両川での意見交換会（11/26） 大江山での意見交換会（7/10・10/25） バス乗車体験会（亀田東小学校2年生・9/25） 	<ul style="list-style-type: none"> 江南区地域公共交通検討会議での意見交換を開催（1月） 両川での乗り合わせタクシーの実験（2月） 大江山での福祉車両を活用した移送支援（3月） バス乗車体験会（東曾野木小・早通小・亀田東小）
4	二本木地区開発事業（新駅設置・パーク＆ライド）	（仮称）江南駅周辺土地区画整理事業による新駅の創設と合わせ、駅前広場やパーク＆ライド駐車場および都市計画道路等の公共施設整備を検討します。	公共施設整備の検討・課題整理	公共施設整備の検討

(3) 計画的な土地利用

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	江南区未来づくりプロジェクト	江南区の豊かな田園・自然環境や、充実した商工業、良質な住宅地、交通網などの強みを最大限活かすための方策について、江南区まちづくり協議会や地域住民とともに検討・実践します。	・江南区PRリーフレット「こうなんです こうなんく」の作成、発信 ・人口減少対策に向けたワークショップの開催（4中学校区着手）	江南区の今後のまちづくりの方向性を整理し、区民にわかりやすく説明するためのリーフレット「コウナンク ミライ コンパス」を作成
2	市場周辺第2地区土地区画整理事業	新潟市中央卸売市場機能の補完・強化や市場間競争力の強化および消費者の高度化・多様化の対応、新たな雇用の創出など拠点形成に取り組みます。	土地区画整理事業への指導・助言と技術支援（造成工事・保留地処分）	土地区画整理事業への指導・助言と技術支援（保留地処分完了・組合解散）
3	（仮称）江南駅周辺地区土地区画整理事業	土地区画整理事業により新駅を設置するとともに、（主）新潟中央環状線とJR信越本線の交通結節点における様々な事業を展開することで、交通拠点の創出など、江南区はもとより、本市の持続的な発展につなげます。	土地区画整理組合設立準備への助言・技術支援	土地区画整理組合設立準備への助言・技術支援
4	農村集落維持活性化事業	人口流出や高齢化に伴い、地域のつながりや活力低下が懸念される農村集落において、集落の維持活性化に向けた「田園集落づくり制度」、「新潟市開発行為等の許可の基準に関する条例」の周知などの取り組みを進めていきます。	対前年比1.2倍の213戸の開発行為を許可し、集落の維持活性化に貢献	対前年比約4割の84戸の開発行為を許可
新規	新たな工業用地の整備促進	製造業、物流業向けの新たな工業用地の確保のため、企業誘致プランに基づき、民間事業者等から開発計画の提案を受けた結果、江南区内において4地区が選定されたことから、整備促進に取り組み、早期の効果発現を図ります。		区内4地区の市街化区域編入および必要な許認可を経て造成工事に着手

2 憩いの空間づくり

水と緑のネットワークづくりやその活用と、資源循環型社会の構築を目指した環境にやさしいまちづくりを推進するなど、自然環境との共生を図り、未来の世代につなげます。

(1) 水辺空間の活用

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	水辺空間に接する自転車道の活用による健幸づくりの推進	阿賀野川フラワーライン・小阿賀野川河川公園など、水辺空間に接する自転車道をルートとした「いい汗いい食江南健幸ライド（「区めぐり自転車交流会」からH30名称変更）」を継続して開催し、環境にやさしい自転車利用による健康づくりの推進と交流人口の拡大につなげます。	開催日：令和元年9月8日（日曜） 会場：区役所スタート～区内の名所・公園～区役所ゴール 参加者数：191人	・健幸ライド中止 ・自転車道活用による健幸づくり促進のため、通行帯の点検補修を実施
2	小阿賀野川の活用	小阿賀野川に生息する外来種駆除と、交流人口拡大を目的として「（仮称）小阿賀野川フィッシング大会」の開催を目指します。	・各関係機関などとの調整 ・開催企画案の作成	フィッシング大会中止 （同日開催予定の地元コミ協によるカヌー体験会中止）

(3) 環境保全対策の推進

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	江南区美化推進活動	環境保全・環境美化に対する意識を高めるため、区民、事業者、行政が連携して行う地域一斉清掃や自治会・町内会が実施するボランティア清掃を推進します。 （H29 25件、H30 68件）	ボランティア清掃実施団体61件	ボランティア清掃実施団体46件
2	ぼい捨て防止啓発事業	美しい江南区の環境を守るため、ぼい捨て禁止の周知を図り、自治会・町内会とともに美化活動を促進するためぼい捨て禁止看板の配布、ぼい捨て禁止の普及啓発活動等を行います。	クリーンにいがた推進委員によるパトロール実施、啓発看板の配布・設置	クリーンにいがた推進委員によるパトロール実施、啓発看板の配布・設置

人と人とのつながりを大切にする 安心安全なまち

- 震災、風水害、津波災害などさまざまな自然災害から区民の生命と財産を守るため、地域の特性を踏まえた災害に強いまちづくりを進めます。自らの安全は自ら守り、地域の安全は地域で守る交通安全・防犯意識の高い地域社会の実現を目指します。
- 住み慣れた地域で、生涯を健やかに安心して暮らせるまちを目指します。誰もが気軽に立ち寄れる場や活動の拠点づくりを進めるとともに、「ふれあいと支えあい」を大切にし、人と人とのつながりを感じられるまちを目指します。

1 いつまでも安心して安全に暮らせるまちづくり

さまざまな自然災害から区民の生命と財産を守るため、地域の特性を踏まえた災害に強いまちづくりを進めます。

(1) 防災力の向上				
	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	地域防災力の向上 (江南区安心・安全な地域づくりの推進)	地域の防災力向上のため、コミ協や自主防災組織などが開催する地域防災訓練への支援や、指導員の派遣、貸し出し資器材の整備を進めます。また、地域で防災活動に対処できる人材を育成するため、中学生に対し防災講習を実施し、ジュニアレスキュー隊を育成します。	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織を新たに1組織設立 ジュニアレスキュー隊育成講習会を公立6中学校で実施 地域防災訓練への職員の参加(29回) 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織を新たに1組織設立 ジュニアレスキュー隊育成講習会を公立5中学校で実施 地域防災訓練への職員の参加(4回)
2	避難対策の推進 (江南区安心・安全な地域づくりの推進)	災害発生時の避難行動に関する啓発活動の実施や避難場所の円滑な運営を図るため、避難所運営体制連絡会を開催するとともに防災備蓄品を整備します。また、災害情報の伝達手段や入手方法について周知徹底することで、地域の安心安全を強化します。	<ul style="list-style-type: none"> イベントを活用した防災啓発の実施(アスパークまつり、大江山地区合同防災訓練、秋の火災予防運動に伴う防火広報イベント) 公民館と合同で防災講座(イザ!カエルキャラバン!)を開催 自治会、町内会より緊急連絡網を提出してもらった。 災害備蓄品(エアーマット、折りたたみベッド、レスキューシート等)を整備 	<ul style="list-style-type: none"> イベントを活用した防災啓発の実施(秋の火災予防運動・春の火災予防運動に伴う防火広報イベント) 地域、公民館と協働で新しいカタチの防災訓練(イザ!カエルキャラバン!)を開催。(参加人数51人) 自治会、町内会より緊急連絡網を提出してもらった。 災害用物品(ヘッドライト、ランタン用電池)を整備
3	地域単位での安心・安全な地域づくりの推進 (江南区安心・安全な地域づくりの推進)	防災・防犯・交通安全等につながる活動の支援および資器材の整備を地域と協働で進め、安心・安全な地域づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 区内8コミ協で実施(防災訓練、防犯パトロール、高齢者交通安全教室などの開催や、防犯灯、防災用テント、投光器、発電機などの設置など) 	区内4コミ協で実施

(2) 防犯・交通安全の活動強化

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	防犯活動の強化	防犯意識を高めるため、警察等関係機関・団体と連携し防犯キャンペーン等を実施するとともに、区だよりによる防犯啓発を行います。また、青色回転灯パトロール車等による防犯パトロールを強化し、犯罪が起こりにくい環境を作るため地域と連携した防犯活動に取り組みます。	防犯パトロール17回/年	防犯パトロール99回/年
2	交通安全活動の強化	交通安全運動期間における街頭指導・啓発活動を実施するとともに、交通安全教室、校区単位での交通安全活動の促進を図ります。また、高齢者・夜間の交通安全意識啓発に取り組みます。	交通安全活動94回/年	交通安全活動75回/年

2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

住み慣れた地域で、生涯を健やかに安心して暮らせるまちを目指します。誰もが気軽に立ち寄れる場や活動の拠点づくりを進めるとともに、「ふれあいと支えあい」を大切に、人と人とのつながりを感じられるまちを目指します。

(1) ずっと安心して暮らせる地域づくり				
	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	江南区ふれあい・ささえあいプランの推進	各種団体と協働して交流事業や福祉大会を開催することで、多世代交流を図るとともに区内の地域福祉を推進し、江南区地域福祉計画の基本理念「みんなでささえあい安心して暮らせるまち江南区」の実現を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 交流事業の開催 (H31.4.21) 福祉大会の開催 (R1.10.19) 「子どもたちの居場所」延べ利用者数9,968人 (H30: 11,586人) 売店はるみどりの開催 9回 	<ul style="list-style-type: none"> 交流事業の開催 (新型コロナにより中止) 福祉大会の開催 (R2.11.28) 「子どもたちの居場所」延べ利用者数6,066人 (R1: 9,968人) 売店はるみどりの開催 4回
2	地域包括ケアシステムの推進	住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、各地域において、高齢者等を支えるしくみづくりや体制の整備を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> 新たな支え合いのしくみ整備 (助け合いの学校の開催、地域の茶の間の開設、地域によるゴミ出し支援や除雪ボランティア体制の構築など) 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな支え合いのしくみ整備 (福祉施設車両を利用した移動支援の検討、生活支援ガイドブックや見守りチェックシートの作成・配布、地域の茶の間の開設、地域によるゴミ出し支援の構築など)
3	地域で生活をおくる障がい者支援	地域課題を洗い出し、必要な社会資源の開発や改善及び関係機関によるネットワークの構築を行い、住宅で安心して暮らせる支援体制整備を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者地域自立支援協議会を開催 <ul style="list-style-type: none"> 全体会議 4回 全体部会 1回 ケース会議 3回 事務局会議 10回 新規相談支援事業所2か所開設に伴う勉強会の実施 障がい児関係機関代表による連絡会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者地域自立支援協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 全体会議 3回 部会 7回 ケース会議 6回 事務局会議 12回 相談支援事業所対象の研修会を上記ケース会議に併せ、6回実施。新規開設事業所も参加
4	健康寿命延伸に向けた取り組み	生活習慣病やフレイルの予防についての知識普及により健康寿命の延伸に向けた取り組みを推進します。	地域のお茶の間30か所で健康教育を実施	地域のお茶の間20か所で健康教育を実施

(2)子どもを安心して産み育てられるまちづくり

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	地域で子育て ～見守る目、見守る心～ 【新規】	地域の中に、子育てを見守る目・見守る心の必要性を誰もが理解し、発信することで、地域全体での子育てを応援する機運を醸成します。	<ul style="list-style-type: none"> 子育て応援バッジ配布数 157個 パパノート約700部を配布し、利用に係るアンケートを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て応援バッジ配布数 79個 パパノート配布、アンケート128件回収、回答者の8割から「役立つ」との回答あり
2	「妊娠・子育てほっとステーション」の周知強化	妊娠期からの切れ目のない子育て支援を行うことにより、安心して産み育てられるよう、身近な相談先である「妊娠・子育てほっとステーション」の周知を強化し、育児不安等の早期発見、重症化を予防します。	妊娠・子育てほっとステーションの認知度 72%	妊娠・子育てほっとステーションの認知度 71%
3	亀田東児童館運営事業	地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、子ども達に健全な遊びや情報の提供を行います。	利用者数 25,182人	利用者 19,969人
4	地域子育て支援拠点事業	地域での子育てを支援するため、親子が遊びながら相互の交流を行う居場所の提供、保護者の子育てに対する不安・悩みを解消するための相談、情報提供、助言を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターの利用者数 12,343人 子育て関連施設会議 4回 	<ul style="list-style-type: none"> 地域子育て支援センターの利用者数 18,119人 児童館職員を含めて意見交換の場を年4回開催

2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

住み慣れた地域で、生涯を健やかに安心して暮らせるまちを目指します。誰もが気軽に立ち寄れる場や活動の拠点づくりを進めるとともに、「ふれあいと支えあい」を大切に、人と人とのつながりを感じられるまちを目指します。

(1) ずっと安心して暮らせる地域づくり				
	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	江南区ふれあい・ささえあいプランの推進	各種団体と協働して交流事業や福祉大会を開催することで、多世代交流を図るとともに区内の地域福祉を推進し、江南区地域福祉計画の基本理念「みんなでささえあい安心して暮らせるまち江南区」の実現を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 交流事業の開催 (H31.4.21) 福祉大会の開催 (R1.10.19) 「子どもたちの居場所」延べ利用者数9,968人 (H30: 11,586人) 売店はるみどりの開催 9回 	<ul style="list-style-type: none"> 交流事業の開催 (新型コロナにより中止) 福祉大会の開催 (R2.11.28) 「子どもたちの居場所」延べ利用者数6,066人 (R1: 9,968人) 売店はるみどりの開催 4回
2	地域包括ケアシステムの推進	住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、各地域において、高齢者等を支えるしくみづくりや体制の整備を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> 新たな支え合いのしくみ整備 (助け合いの学校の開催、地域の茶の間の開設、地域によるゴミ出し支援や除雪ボランティア体制の構築など) 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな支え合いのしくみ整備 (福祉施設車両を利用した移動支援の検討、生活支援ガイドブックや見守りチェックシートの作成・配布、地域の茶の間の開設、地域によるゴミ出し支援の構築など)
3	地域で生活をおくる障がい者支援	地域課題を洗い出し、必要な社会資源の開発や改善及び関係機関によるネットワークの構築を行い、住宅で安心して暮らせる支援体制整備を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者地域自立支援協議会を開催 <ul style="list-style-type: none"> 全体会議 4回 全体部会 1回 ケース会議 3回 事務局会議 10回 新規相談支援事業所2か所開設に伴う勉強会の実施 障がい児関係機関代表による連絡会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者地域自立支援協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 全体会議 3回 部会 7回 ケース会議 6回 事務局会議 12回 相談支援事業所対象の研修会を上記ケース会議に併せ、6回実施。新規開設事業所も参加
4	健康寿命延伸に向けた取り組み	生活習慣病やフレイルの予防についての知識普及により健康寿命の延伸に向けた取り組みを推進します。	地域のお茶の間30か所で健康教育を実施	地域のお茶の間20か所で健康教育を実施

(2)子どもを安心して産み育てられるまちづくり

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	地域で子育て ～見守る目、見守る心～ 【新規】	地域の中に、子育てを見守る目・見守る心の必要性を誰もが理解し、発信することで、地域全体での子育てを応援する機運を醸成します。	<ul style="list-style-type: none"> 子育て応援バッジ配布数 157個 パパノート約700部を配布し、利用に係るアンケートを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て応援バッジ配布数 79個 パパノート配布、アンケート128件回収、回答者の8割から「役立つ」との回答あり
2	「妊娠・子育てほっとステーション」の周知強化	妊娠期からの切れ目のない子育て支援を行うことにより、安心して産み育てられるよう、身近な相談先である「妊娠・子育てほっとステーション」の周知を強化し、育児不安等の早期発見、重症化を予防します。	妊娠・子育てほっとステーションの認知度 72%	妊娠・子育てほっとステーションの認知度 71%
3	亀田東児童館運営事業	地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、子ども達に健全な遊びや情報の提供を行います。	利用者数 25,182人	利用者 19,969人
4	地域子育て支援拠点事業	地域での子育てを支援するため、親子が遊びながら相互の交流を行う居場所の提供、保護者の子育てに対する不安・悩みを解消するための相談、情報提供、助言を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターの利用者数 12,343人 子育て関連施設会議 4回 	<ul style="list-style-type: none"> 地域子育て支援センターの利用者数 18,119人 児童館職員を含めて意見交換の場を年4回開催

創造的な産業を育む活力のあるまち

- 地元の多様な農産物を活用することで、農業と商工業の連携による創造的な産業の育成を図り、江南区ならではの個性と魅力あるものづくりを進めるとともに、新たな雇用の創出を目指します。
- 地域が一体となり、そこに培われた風情や歴史など“地域らしさ”を感じさせる、活力と魅力にあふれた賑わいのあるまちなかを創出し、交流人口の拡大を目指します。

1 創造的な産業の育成

地元の多様な農産物を活用することで、農業と商工業の連携による創造的な産業の育成を図り、江南区ならではの個性と魅力あるものづくりを進めるとともに、新たな雇用の創出を目指します。

(1) 農業の振興

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	農地中間管理機構制度の推進	地域農業の高齢化や後継者不足に対応し、将来の農業のあり方について地域で話し合い活動を進め、農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化を進めます。	・新たに5地区で話し合い活動に着手（累計で28地区）	・新たに3地区で話し合い活動に着手（累計で31地区）
2	魅力ぎっしり江南区の創造と発信	「農」に親しむ機会の提供し、都市近郊の立地条件も活かしながら地域特産品の知名度の向上を図り、収益性の高い農業経営の実現を目指します。	・「農」に親しむ機会の提供 12回	・「農」に親しむ機会の提供 4回
3	環境保全型農業の推進	環境にやさしい持続可能な農業を推進し、化学合成由来の肥料や農薬の使用量の低減を進め、消費者の安心・安全指向に応えた農産物の生産を進めます。	・新潟県特別栽培農産物の認証のべ面積 20ha	・新潟県特別栽培農産物の認証のべ面積 22ha

(2)新たな産業の創出

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	旬果旬菜いきいきフェスタの開催	江南区の旬の味覚や特産品、加工品の魅力を紹介し、知名度の向上を図るとともに、高い付加価値を持つ創造的な産業の育成と販路の拡大、地域産業の育成を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 旬果旬菜いきいきフェスタを開催し、地域産業をPRした。 来場者数：約18,000人 	<ul style="list-style-type: none"> 旬果旬菜いきいきフェスタ中止
2	魅力ぎっしり江南区の創造と発信	江南区の特産品や6次化産業による成果を広域的にPRするため、フードメッセinにいがたへの出展し、販路の拡大と知名度の向上を図り地域産業の育成を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> フードメッセinにいがたへの出展 	下段「食」のブランド強化・発信事業」に移行
3	地場産業の振興	地域資源である亀田縞のさらなる活用と販路の拡大を図り、地域に根差した創造的な産業の育成を図りながら雇用の拡大を図ります。	亀田縞ブランド推進協議会 参加事業者数 28団体	産地としての景観づくり <ul style="list-style-type: none"> 亀田縞タペストリーの設置 他の事業との連携（風鈴まつり、かめだ梅の花めぐり）
新規	「食」のブランド強化・発信事業【新規】	江南区に多数存在する特産農産物や加工品の地域ブランドを高めるため、フードメッセinにいがたに出展し、販路の拡大や知名度の向上、および地域産業の育成を図ります。		<ul style="list-style-type: none"> フードメッセinにいがたへの出展

2 活力と賑わいのあるまちなかの創出

地域が一体となり、そこに培われた風情や歴史など“地域らしさ”を感じさせる、活力と魅力にあふれた賑わいのあるまちなかを創出し、交流人口の拡大を目指します。

(1) まちなかの活性化と交流人口の拡大

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	商工団体の活動支援	地元商工団体と連携し、商工業者の活性化に向けた本市支援制度などを的確に利用していただくことで、江南区における魅力ある商工業者と商工団体の活動を支援します。	主な商工業等の活性化支援制度が全地区で活用 ・次世代店舗支援事業 ・商店街活性化ステップアップ事業 ・生産性向上設備投資補助金等	主な商工業等の活性化支援制度が全地区で活用 ・生産性向上設備投資補助金 ・商店街活性化ステップアップ事業 ・先端設備等導入計画の認定等
2	地域商業活性化支援事業	江南区の拠点商業地である亀田本町周辺商店街と、同地区の交流の原点である亀田三・九との連携による活性化の取り組みを支援し、相乗効果で商店街周辺の賑わい創出を図ります。	・セタイイベント ・三・九マルシェ ・まちゼミスタンプラリー （3月に計画した商店街ミニコンサートは中止）	・風鈴まつり ・かめだ梅の花めぐり（連携事業） ※ 梅剪定枝を使ったアレンジメントの設置、商店街への梅花（造花）の飾り付け
3	江南区ぐるっと巡って発見・体験ツアー	区内の観光資源を発掘、さらに深掘りし、それらを組み合わせることで魅力を高め、新たな観光コンテンツとして活用します。また、その情報を発信・提案することで集客と交流人口の拡大を図ります。	・二次交通支援 ・まち歩き、バスツアー ・フォトコンテスト（春・夏部門） ・VRとドローンを活用した動画の作成と発信	・割烹弁当まつり ・半額還元キャンペーン ・まち歩き（袋津三味）
4	江南区未来づくりプロジェクト（再掲）	江南区の豊かな田園・自然環境や、充実した商工業、良質な住宅地、交通網などの強みを最大限活かすための方策について、江南区まちづくり協議会や地域住民とともに検討・実践します。	・江南区PRリーフレット「こうなんです こうなんく」の作成、発信 ・人口減少対策に向けたワークショップの開催（4中学校区着手）	・江南区の今後のまちづくりの方向性を整理し、区民にわかりやすく説明するためのリーフレット「コウナンク ミライコンパス」を作成

未来に向けて人が輝き文化が育まれるまち

- 将来を担う大切な人材である子どもたちの健やかな成長に向けて、学校と家庭や地域が連携して学・社・民の融合により、教育力の向上を図ります。
- 先人から受け継がれた歴史や伝統を継承し、多様な文化芸術にふれる機会の創出や市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりなど、さまざまな個性が発揮でき、生涯にわたり人が輝くまちを目指します。

1 地域と共に創る子どもたちの未来

将来を担う大切な人材である子どもたちの健やかな成長に向けて、学校と家庭や地域が連携して学・社・民の融合により、教育力の向上を図ります。

(1) 生涯にわたり学びの機会の提供

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	子ども体験教室	子どもたちが仲間同士で様々な活動を通して、助け合いや協力することについて学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ・亀田地区公民館：6事業実施 ・曾野木地区公民館：5事業実施 ・横越地区公民館：2事業実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・亀田地区公民館：2事業実施 ・曾野木地区公民館：2事業実施 ・横越地区公民館：4事業実施
2	学習室開放事業	子どもたちに公民館の学習室を開放し、子どもたちが集中して学習する場を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・亀田地区公民館：57回提供 ・曾野木地区公民館：98回提供 ・横越地区公民館：341回提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・亀田地区公民館：57回提供 ・曾野木地区公民館：347回提供 ・横越地区公民館：317回提供

(2) 学・社・民の融合による教育の推進

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	地域と学校パートナーシップ事業	学校に配置された地域教育コーディネーターを核として、地域や社会教育施設との様々な活動を結ぶネットワークづくり、教育活動における地域人材の参画と協働等を推進します。	学校支援ボランティア延べ人数 (区内1校当たり年間) 1,450人	学校支援ボランティア延べ人数 (区内1校当たり年間) 1,466人
2	地域と学校パートナーシップ事業(ウェルカム参観日)	パートナーシップ事業の地域への更なる広報・周知を図るため、地域の誰もが参加できる「ウェルカム参観日」を区内の学校で実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 区だより(10/6号)に開催案内を掲載 自治協議会(10/24)において開催を周知 区教育ミーティング(1/23)において好事例として紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 教育ミーティング(12/24)にてウェルカム参観日案内チラシを自治協議会委員に配布 区役所だより(1/3号)においてウェルカム参観日の案内掲載 区役所だより(3/21号)において、パートナーシップ事業に係る各学校の取組みを紹介
3	改築、大規模改修事業等	学校施設の老朽度や建築経過年数等を踏まえた、校舎の大規模改修により、子どもたちが安心して学べる安全な施設整備を進めます。	曾野木小、横越小、大規模改造工事完了	亀田中、大規模改造工事完了

(3) 家庭教育の支援

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	家庭教育学級	乳幼児期や児童期など、成長段階における課題などについて学びあえる家庭教育講座を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 亀田地区公民館：7事業実施 曾野木地区公民館：2事業実施 横越地区公民館：3事業実施 	<ul style="list-style-type: none"> 亀田地区公民館：8事業実施 曾野木地区公民館：1事業実施 横越地区公民館：4事業実施

2 文化が花開きスポーツの盛んなまちづくり

先人から受け継がれた歴史や伝統を継承し、多様な文化芸術にふれる機会の創出や市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりなど、さまざまな個性が発揮でき、生涯にわたり人が輝くまちを目指します。

(1) 文化の振興・文化の創造

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	「江南区をPR」ジュニアサポーター	文化・スポーツの分野で活躍する小・中学生を「ジュニアサポーター」に任命し、江南区をPRしてもらうことで、文化・スポーツのさらなる振興につなげるとともに、市内外へ江南区の魅力を発信します。	<ul style="list-style-type: none"> 区役所だよりによる広報、江南区小・中学校合同校長会、江南区スポーツ協会へ周知 ジュニアサポーター3名を任命 	<ul style="list-style-type: none"> ジュニアサポーター任命なし(各種全国大会中止) 地域活動等で活用できるポロシャツの作成
2	江南区文化創造事業	国内外の著名なアーティストや新潟にゆかりのあるアーティストによるコンサート、区民が親しみやすい事業の実施を通じ、更なる文化芸術の創造と振興を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 新潟県立大学×江南区文化会館連携事業 江南区演劇公演 演劇コミュニケーション講座 全国社会人落語まつり(共催) 江南区国際交流音楽祭2019 	<ul style="list-style-type: none"> プロポーザルによる委託事業 新潟県立大学×江南区文化会館連携事業 江南区演劇公演 演劇コミュニケーション講座

(2) 歴史や伝統の継承

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	江南区郷土資料館管理運営事業	江南区の歴史・文化を分かりやすく伝える講座等の実施を通じ、江南区が持つ歴史と伝統の理解と継承に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 郷土史講座 全3回、133名参加 歴史講座 全4回、249名参加 横越昔語りの会 全11回、212名参加 子ども体験教室 全2回(夏・冬)、32名参加 	<ul style="list-style-type: none"> 郷土史講座 全3回、174名参加 歴史講座 全4回、209名参加 横越昔語りの会 全2回、39名参加 子ども体験教室 全1回(冬)、39名参加 古文書学習会 全7回、102名参加
2	江南区郷土史学習支援事業	江南区郷土資料館で江南区の歴史や伝統を学ぼうとする小中学生に対し、ボランティアスタッフによる分かりやすい説明により江南区の歴史や伝統に対する理解を深められるように支援します。	実施回数：6回(区内小学校6校) 参加生徒数：290名	実施回数：6回(区内小学校6校) 参加生徒数：397名

(3) スポーツ活動の支援・振興

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	スポーツに親しむ機会の創出	ランニングやウォーキングなど身近に取り組めるスポーツや、年齢・経験を問わず誰もが参加できるニュースポーツ（フロアカーリング）などのイベントを実施し、区民がスポーツに親しむ機会を創出します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ランニングスクール（健康ランニングセミナー・走り方教室の後継イベント） 1回 ・江南区健康ウォーク 1回 ・フロアカーリング交流会 2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・ランニングスクール（健康ランニングセミナー・走り方教室の後継イベント） 1回 ・江南区健康ウォーク 1回 ・フロアカーリング審判講習会 1回、親善交流大会 1回
2	地区スポーツ振興会補助事業	江南区内の各地域性に合わせ、より地域に身近なスポーツの事業展開を図ることで地域のスポーツ振興・活性化を推進する区内の地区スポーツ振興会の活動を支援します。	地区スポーツ振興会（亀田・大江山・曾野木・東曾野木・両川・横越）を補助金交付により支援	地区スポーツ振興会（亀田・大江山・曾野木・東曾野木・両川・横越）を補助金交付により支援
3	区スポーツ協会運営事業	生涯にわたるスポーツ活動を広くPRし普及活動を行うことで区内のスポーツ人口の拡大を図ります。また、区スポーツ協会加盟団体等へスポーツの国際大会等出場者激励金制度や区スポーツ協会スポーツ表彰をPR・実施することで競技力の向上に資するとともに区内の優秀な競技者・指導者の把握に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・区内スポーツ少年団等照会案内を区役所に設置。また区HPでも公開 ・スポーツ表彰式の実施にあたり、会場（区役所）を提供 ・区スポーツ協会の会議等で激励金制度を周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・区内スポーツ少年団等照会案内を区役所に設置。また区HPでも公開 ・区スポーツ協会の会議等で激励金制度を周知
4	「江南区をPR」ジュニアサポーター（再掲）	文化・スポーツの分野で活躍する小・中学生を「ジュニアサポーター」に任命し、江南区をPRしてもらうことで、文化・スポーツのさらなる振興につなげるとともに、市内外へ江南区の魅力を発信します。	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所だよりによる広報、江南区小・中学校合同校長会、江南区スポーツ協会へ周知 ・ジュニアサポーター3名任命 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアサポーター任命なし ・地域活動等で活用できるポロシャツの作成

区民がまちづくりの主役として輝くまち

- さまざまな地域課題解決に向けて、区自治協議会、地域コミュニティ協議会、自治会・町内会などとの協働をさらに深め、区民が主役となる自治の実現を目指します。
- 江南区サービス憲章に基づき、区民の立場に立って迅速・丁寧な対応を目指すとともに、多様な区民の声を大切にする区役所づくりを進めます。

基本方針Ⅴ 区民がまちづくりの主役として輝くまち

1 区民と共に歩む協働のまち

さまざまな地域課題解決に向けて、区自治協議会、地域コミュニティ協議会、自治会・町内会などとの協働をさらに深め、区民が主役となる自治の実現を目指します。

(1) 区自治協議会との協働

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	区自治協議会活性事業	区の地域課題の早期解決やさらなる地域の活性化のため、自治協議会と区役所との連携を強化し、各部会での議論を活発にする。また、委員研修会などを通じ、委員のスキルアップを図る。	<ul style="list-style-type: none"> 委員研修会は令和2年3月3日に開催予定だったが未実施 延べ41回。まちづくり、安心安全、環境・教育部会（各11回）、総務特別部会（2回）、広報誌発行特別部会（4回）、環境教育部会実施事業（2回） 	<ul style="list-style-type: none"> 委員研修会（令和2年12月実施） 延べ31回。まちづくり、安心安全、環境・教育部会（各9回）、総務特別部会（2回）、広報誌発行特別部会（2回）

(2) コミュニティ活動への支援

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	曾野木地区市営住宅跡地コミュニティ活動拠点整備事業	曾野木地区において、地域住民の活動拠点となるコミュニティ施設及び近隣保育園2園の統合を軸とした施設の整備に向け事業者を選定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・地元団体等との意見交換の実施（全4回） ・公募型プロポーザル方式により、事業実施者を選定し、基本協定書を締結 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元団体等との意見交換の実施 ・施設整備に向けた設計
2	地域コミュニティ育成事業	地域コミュニティ協議会の運営を支援し、地域コミュニティ協議会による持続的な地域の特性を生かしたまちづくり活動につなげます。	運営助成金の交付 区内8コミ協	運営助成金の交付 区内7コミ協
3	地域団体等との意見交換会の開催	区民との協働によるまちづくりを推進するため、コミュニティ協議会単位での懇談会を開催し、地域課題についての意見交換を行うことを通じ、コミュニティ協議会の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会長新年度説明会の開催 ・区長懇談会の開催（区内8コミ協） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・内会長新年度説明会（資料配布） ・区長懇談会（区内7コミ協書面開催）
4	江南区未来づくりプロジェクト（再掲）	江南区の豊かな田園・自然環境や、充実した商工業、良質な住宅地、交通網などの強みを最大限活かすための方策について、江南区まちづくり協議会や地域住民とともに検討・実践します。	<ul style="list-style-type: none"> ・江南区PRリーフレット「こうなんです こうなんく」の作成、発信 ・人口減少対策に向けたワークショップの開催（4中学校区着手） 	江南区の今後のまちづくりの方向性を整理し、区民にわかりやすく説明するためのリーフレット「カウンク ミライ コンパス」を作成

基本方針Ⅴ 区民がまちづくりの主役として輝くまち

2 区民の声を大切にする区役所づくり

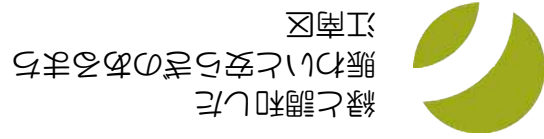
江南区サービス憲章に基づき、区民の立場に立って迅速・丁寧な対応を目指すとともに、多様な区民の声を大切にする区役所づくりを進めます。

(1) 親しまれ信頼される区役所

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	人材育成事業	職員資質の向上を目的に職員研修を実施するとともに、各業務に関する専門研修への参加を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修の実施（メンタルヘルスセミナー、人権研修など） 各種研修への参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修の実施（コロナ禍に対応した接遇研修、人権研修など） 各種研修への参加促進
2	窓口改善運動の推進	区民の視点に立った、わかりやすい窓口対応を進めるため、窓口改善運動PTによる改善事項の検討を進め、区役所庁舎内などの案内表示等の改善を実施します。	1階案内係周辺のレイアウト変更を実施	1階掲示物コーナーのレイアウト変更を実施

(2) 広報・広聴の充実

	事業名	事業概要	第3次工程・数値目標	
			2019年度の実績	2020年度の実績
1	区役所だより発行事業	区民に広く情報発信できる媒体であることを活かし、区の行政情報や各施設の催しだけでなく、江南区の魅力や特徴的な取り組みを発信し、区民の認知度向上につなげます。	<ul style="list-style-type: none"> 江南区自治協議会通信を掲載（8/4・1/19号） レンズでキャッチに各地域の取り組みを取材（5/5・6/2・7/7・8/4・8/18・11/17・12/1・12/15・2/2・3/15号） 	<ul style="list-style-type: none"> 江南区自治協議会通信を掲載（8/4・1/19号） レンズでキャッチに各地域の取り組みを取材（5/5・6/2・7/7・8/4・8/18・11/17・12/1・12/15・2/2・3/15号）



令和3年5月

新潟市江南区役所 地域総務課

〒950-0195 新潟市江南区泉町3-4-5

TEL:025-383-1000 FAX:025-381-7090